

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます (2019年2月22日)

### ■第1版 第1刷 (2018年5月10日発行) の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
特集：夜間外来の薬の使い分け「鎮痛薬の使い方、こんなときどうする?～「痛み」を科学する?」					
509	●+αの話：喘息患者にNSAIDsを使っていいの？ 上から5～8行目	軽症持続型喘息の幼児においてアセトアミノフェンの頻用はイブプロフェンの頻用と比較して急性増悪の発現率が高くなることが示され、イブプロフェンの投与と喘息コントロールが不良になることとの関連は示されませんでした。	軽症持続型喘息の幼児においてアセトアミノフェンの頻用はイブプロフェンの頻用と比較して急性増悪の発現率が高くなることと、喘息コントロールが不良になることとの関連は示されませんでした。		19/02/22